

私達が沖縄市をPRします!

ちゃんぷる～沖縄市大使

沖縄市は、文化のかおり高い美しいまち、平和で豊かなまち、調和のとれた産業発展の推進を将来の希望、目標と定め、昭和49年10月26日に「国際文化観光都市」を宣言しました。

現在では、「スポーツコンベンションシティ」「エイサーのまち」「こどものまち」として、多彩な文化資源を活用しながら魅力溢れるまちづくりを進めています。

本市にゆかりのある方々をとおして、沖縄市の魅力を広く発信し、イメージアップを図ることを目的に、沖縄市大使事業(ちゃんぷる～沖縄市大使)を平成24年度にスタートしました。



2013
3/30
就任

出身地：沖縄県沖縄市

与那嶺 翼

私は生まれも育ちも沖縄市で、ここまで自分を築き上げてこられたのも沖縄市の素晴らしい環境があってこそだと思っています。沖縄市の魅力はスポーツやエイサーなど色々な分野で市民、県民に勇気や元気を与えているところではないでしょうか。未来ある子ども達がスポーツの魅力を感じ、市民や県民に勇気や元気を与えてくれることを願っています。



2013
3/30
就任

出身地：沖縄県沖縄市

並里 成

小さな頃から慣れ親しんだ町である沖縄市は、コザ・ミュージックタウンや沖縄こどもの国など、様々な娯楽施設もありながら、泡瀬の綺麗な海などの自然が残る、魅力溢れる町です。しかし、なんといっても沖縄市といえば、コザです!人情溢れる商店街があり、そこには沖縄市のディーブな魅力が詰まっています。ぜひコザに遊びに来て下さい!



2013
3/30
就任

出身地：沖縄県沖縄市

山内 盛久

沖縄市は他の町とは違い、様々なお店が集まった商店街などがあり、来れば来る程その魅力に気付く素敵な町です。特に自分の出身地でもある山内は、娯楽施設だけでなく学校や公園、病院等の福祉施設なども充実しており、子どもからお年寄りまで多くの人が住みやすい町になっています。その魅力を皆さまに届けられるよう頑張りますので、よろしくをお願いします。



2013
7/22
就任

出身地：沖縄県那覇市

川田 広樹 (ガレッジセール)

沖縄本島の真ん中であって音楽を愛する人がとくに多い町、沖縄市。

僕が毎年楽しみにしているのが、全島エイサーまつり!興奮と感動が詰まった最高の祭りです!



2013
7/22
就任

出身地：沖縄県那覇市

照屋 年之 (ガレッジセール)

アメリカと闘いアメリカを取り入れ、独自の文化を育てたコザ。

日本でも沖縄でもない異彩を放つ街。伝統文化からニューウェーブまで味わえる芸能の宝庫、沖縄市へどうぞ!



2013
8/31
就任

出身地：沖縄県沖縄市

諸喜田 伸

生まれてから25年間、沖縄市民として暮らし、今は遠い外国、台湾にて生計を立てています。沖縄市のもつチャンブルー文化、国際都市のアイデンティティは、私の魂の中に根強く浸透しております。

今後ちゃんぷる～沖縄市大使として、沖縄市と台湾の親善並びに文化、経済の交流推進にお役立てるかと思えます。



2014
11/29
就任

出身地：沖縄県沖縄市

糸数 美樹

生まれ育ったここ、コザ。っつか、池武当ですけどね(笑) 他の市町村の人たちにはキャラ濃い。。って敬遠されがちだけど、そこが魅力の街。

私がアピールしてみせます!一度コザの魅力に気付いたら、あなたはもう抜けられませんぞ!



2014
11/29
就任

出身地：沖縄県沖縄市

宮島 真一

コザには「夢」を語る大人がたくさんいます。「夢」を語れる場所もたくさんあります。その「夢」は皆がハッピーになること。過去・現在・未来(夢)を語る沖縄市をこれから楽しく発信し続けます。「コザの裏側」は実は表なんです。皆でもっと表に出ようぜ。じゃないと子供がカッコいい大人になれないぜ。という気持ちで生きましよう!



2014
11/29
就任

photo:YOSHITAKA MIZUNO
出身地：沖縄県沖縄市

岸本セシル

沖縄市の魅力を広く発信し、沖縄市を盛り上げていけるように頑張ります。



2015
3/28
就任

出身地：沖縄県沖縄市

いっこく堂

沖縄市で育った人間として、再び輝く街として注目されることを願っています。そのために沖縄市出身の私も、ちゃんぷる～沖縄市大使として、宣伝活動に力を入れていきます。

どうしたら魅力ある街として君臨することができるのかも考えていきたいと思っています。



2018
9/28
就任

出身地：沖縄県沖縄市

喜友名諒

私は、これまで家族、友人、地域や周りの人々に支えられ日々過ごしてまいりました。大使になったことで、地元沖縄市やこれまで私を支えてくれた方々に何かしらの貢献ができる、大変良い機会が得られたと感じております。まだまだ鍛錬の日々は続きますが、ちゃんぷる～沖縄市大使の名に恥じぬよう、これからも精進してまいりたいと思っています。



2018
11/24
就任

出身地：沖縄県沖縄市

ISSA

かつてアメリカとここまで共存し繁栄した街があったらどうか!

出身地である沖縄そしてコザの街は、今の自分にとってなくてはならない大事な宝です!ここにしかない独特の雰囲気は是非その目と心で感じて下さい!



2019
11/15
就任

出身地：沖縄県沖縄市

金城 新

沖縄市は私が生まれ育った町で、スポーツやエイサー、音楽が盛んで、人々も人情味深い温かい町です。私は、空手を通して、子ども達に夢や希望をもってもらえるように精進し、沖縄市を盛り上げたいと思っています。

よろしくお願ひします。



Key person in Okinawa City

ソーセージとハムのでまちおこし
ゲート通りへ賑わいを取り戻す

嶺井大地さん
(TESIO)

沖縄の食材を使ったソーセージやハムなどの加工肉を製造、販売する「TESIO(テシオ)」は、コザゲート通りにある人気店です。2019年には本場ドイツで開催された食肉加工の国際コンテストIFFA(イーファ)で金賞を受賞するなど、その名を県内外に広く知られる実力派。店主の嶺井さんは、子供の頃から慣れ親しんだ沖縄市に深い思い入れがあり、市のまち

おこしプロジェクトに参加するなど、まちを盛り上げるため精力的に活動しています。また様々な独自の取り組みも実施しており、選挙の投票者へ無料でホットドックを配布し、大きな話題を呼びました。「店のあるゲート通りを中心に、誰もが『沖縄市が賑わいを取り戻した』と感じられるようにしたい」と意欲を燃やしています。



Energize the town with the power of sausages and hams to a bustling street
MINEI Daichi (TESIO)

“TESIO” is a popular shop located on Koza gate street, which manufactures and sells processed meats such as sausages and hams using local Okinawan ingredients. Their products even won a gold medal at an international meat processing contest held in Germany in 2019. The owner, Mr. Minei has a strong passion for his hometown, Okinawa City, where he spent all his childhood and participates in the city development projects through unique initiatives, such as distributing free hot dogs to voters during elections. “I want everyone to feel like, Okinawa City has regained its liveliness, especially around Gate street.”

音楽のまちはダンスのまちへ
沖縄市ダンス界を引っ張る若き指導者

マツザキアケミさん
(What's Up Akemi Dance School)

約130名もの生徒が通う「What's Up Akemi Dance School」は、県内のダンス大会で数多くの受賞歴を持つ人気のスクールです。代表者のアケミさんは、大人のものと思われていたヒップホップダンスを子ども達にも広めたいと、17歳という若さで教室を始めた根っからのダンス指導者です。沖縄市に近年急速にダンスが浸透したのは、古くから音楽に親しんできた人が多く、音

楽と密接につながるダンスも楽しめる素養があったからではないかと、アケミさんは考えます。「10年ほどでダンススクールが増え、ダンス大会も多く開催されるようになりました。生徒たちが切磋琢磨できる環境なので、レベルが飛躍的に上がっていると感じています」。今後さらにダンサーが活躍できる場を作っていきたいと意気込んでいます。



To the town of music, young leaders teach how to dance
MATSUZAKI Akemi (What's Up Akemi Dance School)

“What's Up Akemi Dance School” is a popular dance school attended by some 130 students, and has recently received many awards at dance competitions within the prefecture. Akemi, the representative, spread hip-hop dance to all generations, especially to youth in Okinawa. She is a truly dedicated dance instructor who started her own classroom at the age of 17. Akemi thinks that the reason why dance has spread rapidly in Okinawa City in the recent years is because many people have been accustomed to music since ancient times, and since they had the ability to enjoy dancing closely related to music. “In 10 years, the number of dance schools has increased, and many dance competitions have been held. I feel that the level has risen dramatically because of the environment where students can work hard together under a healthy form of natural competition.” I am eager to create a place where dancers can play an active part in building the city's future.

<<<<< 沖縄市の今とこれからを支える **キーパーソン** >>>>>
 Individuals supporting the present and future of Okinawa City

可能性の大きいまちだからこそ
 変化を恐れずチャレンジ
大浜安彦さん
 (コザ麦酒工房、とおやま酒店)

「とおやま酒店」の3代目店主でありながら、「コザ麦酒工房」という自社製造のクラフトビール店を運営する大浜さん。酒屋だけにとどまらず活躍の場を広げる理由は「とにかく生きるため」と明快です。職業がら、沖縄市、特にゲート通り界隈の飲食業界の盛衰を間近で見ただけあって、不変の商売は成立しないと感じてきました。「時流を読んで一歩先の動きを

しなければ、商売は続けられませんが。変化を恐れずチャレンジすることが大事だと実感しています」。その言葉通り、2019年には沖縄有数の繁華街、那覇市の久茂地に2号店をオープン。さらに2020年の多目的アリーナが完成すると沖縄市の可能性はさらに広がるはずだと、新しい試みを思案中。そのチャレンジ精神が衰えることはありません。



Challenge without fear of change to realize the city's potential
OHAMA Yasuhiko (Koza Brewing Okinawa)

Mr. Ohama is the third generation owner of the Toyama liquor store, but also operates Koza Brewing Okinawa, a craft beer shop manufacturer. For him, the reason for expanding the field of activity not only in liquor stores is clear: "to carve out my own living." From where I come from, I have only seen the ups and downs of the small and medium sized businesses in food and beverages in Okinawa City, especially near Gate street. "I learned early on, that if you don't read the coming trends and take the next leap of faith, you won't be able to survive with your business. I realized it's important to take on challenges without fear of change." As the words imply, in 2019, he opened a second store in Kumoji, Naha city, one of Okinawa's leading downtown districts. We are thinking of a new attempt, with the possibility of Okinawa City's potential expanding further with the completion of the arena in 2020. The spirit of the challenge will not diminish.

可能性の大きいまちだからこそ
 変化を恐れずチャレンジ
島袋コウさん
 (モバイルプリンス)

スマホやデジタルガジェットの伝道師として、ライター、講師、ラジオパーソナリティとして活躍中のモバイルプリンスさんは沖縄市出身。沖縄市の魅力は、あらゆる面で国際色豊かで多様性に富んでいることだと言います。「今、世の中では、多様性が重要だと叫ばれていますが、沖縄市は歴史的な背景もあり、様々な人種、性別、世代の人々が暮らし、自然に交わって

います」。多様性の波はスマホやパソコンの世界にも及んでおり、流行の物だけでなく、少しマニアックなものや古いものを使用している人も沖縄市には多いとか。このように多彩な人が住むまちだからこそ、これからさらに社会の重要なツールになるであろうスマホの利便性を多くの人に伝えていき、より住みよくなる手助けしたいと考えています。



Challenge without fear of change to realize the city's potential
SHIMABUKURO Ko(Mobile Prince)

As an evangelist for smartphones and digital gadgets, as well as a writer, lecturer, and radio personality The Mobile Prince is also a native of Okinawa City. The charm of Okinawa City is its international and diverse culture. "Now, the world is calling for the importance of diversity, and Okinawa City has a natural history of people of various races, genders and generations who have lived and interacted with nature and themselves." The wave of diversity has spread to the world of smartphones and PCs, and there are many people in Okinawa City who use not only the new trending items but also the slightly old, enthusiast ones. Because of this diverse community, I hope to convey the convenience of smartphones, which has already become an important tool in our modern society, to as many people as possible so they can live better lives.

尖ったイノベーターが集うまち
個性をつなげて大きな輪へ

仲村良行さん

(豆ポレポレ)

沖縄県を代表するコーヒーロー
スターである仲村さんは、沖縄市
の高原と中央パークアベニューに
店舗を持つコザんちゅです。「沖縄
市には尖った人が多く、それを受け
入れる土壌があるところ」が魅力
と感じてきました。オキナワン
ロックスターに代表されるように
「コザ」という場所に強烈なアイデ
ンティティーを持ちながらディー
プにその道を追求する人が、なぜ

か沖縄市には多いと言います。「個
性的な人々が作り出してきたアン
ダーグラウンドな雰囲気は、メ
ジャーな観光地にはない財産だと思
います。そんな場所だからこそ、
今でも各地から個性的な人々が集
い、その道で結果を残しているの
かもしれません」。際立つ個性が結
びついて線や輪になれば、さらに
沖縄市は飛躍できると仲村さんは
確信しています。



Connecting individual thinkers on the cutting edge to create a bigger circle
NAKAMURA Yoshiyuki (Mame pole pole)

Mr. Nakamura, a coffee roaster representing Okinawa prefecture, is a native of Koza currently running two stores one in Takahara and another in Chuo Park Avenue in Okinawa City. I felt that "Okinawa City has a lot of people working on the cutting edge of their profession and genre who are very much accepted locally." It is often said that Okinawa City has many people who pursue their passions deeply while having a strong identity in their local neighborhood place called "Koza" as represented by many Okinawan Rock stars. "I think the hands-on, underground atmosphere created by the unique crowd of people is something not easily found in major tourist destinations. That's why maybe many unique people from all over the world still gather here to build and create things." Nakamura is convinced that Okinawa City will be able to make a leap if its distinctive personality is combined into lines and rings.

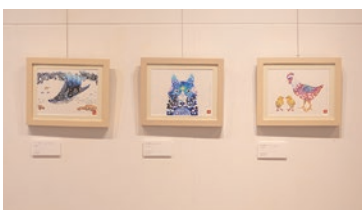
人情味に溢れる沖縄市は
新たな魅力が眠るまち

与儀勝之さん

(イラストレーター)

中央パークアベニュー通りから
つながるパルミラ通りに「soranoe」
というギャラリー兼アトリエを持
つアーティストの与儀さん、実は
生まれは那覇。沖縄県立芸術大学
を卒業後、東京の会社にグラ
フィックデザイナーとして勤務し
Uターンしますが、プチ東京のよ
うな那覇に魅力を感じなくなっ
ていました。様々な縁が重なり沖縄
市にアトリエを構え、今ではこち

らの方が居心地が良いそうです。
「ご近所との距離が近く人情味に
溢れながらも、まちの便利さもあ
り、バランスよく暮らせませす」。さら
に沖縄市では近年、若い世代が
ものづくりにチャレンジし新たな
魅力を創出していると言います。
「沖縄市にしかない魅力がさらに
増えることで、訪れる方も増えて
欲しい。自分もその一役を担えれ
ば」と意欲的です。



Okinawa City is a city with warmth where new charm sleeps
YOGI Katsuyuki (Illustrator)

Mr. Yogi, an artist who has a gallery and atelier called "soranoe" on Palmyra street, which is connected to Chuo Park Avenue street, was born in Naha. After graduating from Okinawa Prefectural University of the Arts, he worked as a graphic designer at a company in Tokyo before returning to Okinawa. Soon, he found himself uninterested in the little-Tokyoness of Naha city and found his comfort zone in Okinawa City. He was able to set up an atelier in Okinawa City and now feels at home. "While being close knit as a neighborhood and full of human affection, the city is still very convenient and you can live in a well-balanced manner." Furthermore, in Okinawa City, in recent years, younger generations have been challenging manufacturing and creating new attractions. "Okinawa City's unique charms are increasing, so so will its visitors. I hope to be able to play a part in that role as well."

生まれ育った地元で恩返しを
沖縄市で最年少の自治会長

親川 静也さん
(沖縄市八重島自治会 会長)

沖縄市の八重島地区に2018年、市内最年少自治会長が誕生しました。同地区で生まれ育った親川さんは、自治会長立候補者不在で地域行事が下火になっていることを学生時代に目の当たりにします。「地域の行事や人々に助けられて今の自分がある」という考えのもと、地域へ恩返しするべく自治会長を引き受けました。特に注力しているのがこどもたちとの交流です。「こども

が大人になった時に、懐かしむとともに愛着を持てるような地域にしたい」と、自治会事務所でイベントを開催したり、教員免許の資格を生かし放課後に宿題を教えたりと、様々な試みを積極的に行っています。また、自身も所属していた青年会活動も再開。近所付き合いが希薄になっている昨今だからこそ、自治会を通じて地域の人々が自然に交流できるよう奮闘中です。



The youngest self-government chairman in Okinawa City hopes to give back OYAKAWA shizuya (Chairman, Yaeshima People's Association of Okinawa City)

In 2018, the youngest self-government chairman of the city was born in the Yaeshima district of Okinawa City. Oyakawa, born and raised in the district, witnessed a time in the past when local events were declining in the absence of participants in the self-government. Based on the idea that "I was once raised by my local elders and community of people," took on the role of self-government president to give back to the community. One particular focus is on interaction with children; "I want to create an area where children can become nostalgic and build a strong attachment to where they are from when they grow up," he held events at residents' association offices and taught homework after school using his teacher's license qualifications. The local youth association activities to which he belonged also resumed. Recently its often said that people have less connections to their neighborhood associations, and that is why the residents' association is working hard to interact with their local folks.



原動力の全てはこどもたち
コザを住み続けたいなる場所に

奥間 由紀江さん
(沖縄市観光物産振興協会青年部部長他)

沖縄市で40年以上続く「丸政洋酒店」を家業としながら県卸売酒販組合連合会の事務局長もこなしつつ、市の観光物産振興協会青年部で初めての女性部長に就任。さらに市PTA連合会の副会長や「沖縄市女子観光プロジェクトチーム」のメンバーも務めた奥間さんは、精力的に地域活動に取り組むパワフルな女性です。その原動力はズバリ「こどもたち」。4人の母で

ある奥間さんの目標は、経済的に沖縄市が豊かになることで住みやすさを向上させ、こどもたちが将来もずっといたいと思えるまちにすることです。奥間さん自身、沖縄市への愛着が強いからこそ、様々な活動を加速させながら持続できているのでしょう。「こどもたちのために何ができるか模索しながら、楽しんで活動し続けたい」と目を輝かせています。



To make Koza a city where children want to live in the future OKUMA Yukie (Okinawa City Tourism Promotion Association Youth Manager)

As the first female director in the Youth Club of the City's Tourism and Local Products Promotion Association, Mrs. Okuma has also been working as the secretary-general of the Prefectural Wholesale Liquor Association, helping run her family business, "Marumasa liquor store" which has been in business for over 40 years in Okinawa. Mrs. Okuma, also the vice chairman of the City PIA Federation and a member of the Okinawa City Women's Tourism Project Team, is a powerful woman who works vigorously in local activities. Her driving force is her children; as a mother of four, Mrs. Okuma's goal is to make Okinawa City economically prosperous and to raise the ease of living and create a city where children want to stay and live in the future. Mrs. Okuma has a strong attachment to Okinawa City, leading her to sustain various activities while also taking on new challenges. "I want to continue to have fun while trying to find out what we can do for our children."

